

各位

上場会社名	株式会社パスポート
代表者	代表取締役社長 水野純
(コード番号	7577)
問合せ先責任者	常務取締役総合企画部長 久保田勝美
(TEL	03-3494-4497)

通期業績予想及び配当予想の修正並びに 特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年7月8日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	200	120	70	13.86
今回修正予想(B)	12,800	△120	△180	△270	△53.46
増減額(B-A)	△700	△320	△300	△340	
増減率(%)	△5.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年2月期)	13,525	464	394	196	38.81

修正の理由

1. 業績予想修正の理由

平成26年2月期は当社の中期経営計画「P'ECE」の最終年度にあたり、成長力回復に向けた品揃えの拡充に取り組んでまいりました。また、ブロック長による各店別の商品投入を強化し、JAN化による単品管理の仕組みや、Web-EDIの発注システムの導入で、在庫効率の改善や販売機会損失の予防、商品情報の分析にも積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、直輸入等の開発商品の売上が低迷し、品揃えの改善が遅れたため、年間最大商戦の12月も直営既存店売上高は大幅に悪化し、新店を含めた全社売上高が大きく減少する見込みとなりました。更に、政権交代以降の円安による直輸入品の原価の上昇と、売上げ不振による売値下げの増加によって、売上原価率が上昇しており、営業利益、経常利益、当期純利益とも大幅に減少する見込みであります。また、当期純利益の減少には、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用により、固定資産の減損処理を実施した、特別損失80百万円が含まれております。

このような状況を勘案いたしまして、平成25年7月8日に公表いたしました平成26年2月期の業績予想を修正するものであります。

2. 特別損失の発生見込み及びその内容

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用により、収益改善の見通しが困難な不採算店舗について、固定資産の減損処理等を実施し、特別損失80百万円を計上する見込みとなりました。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成25年4月8日発表)	—		—	10.00	10.00
今回修正予想	—		—	7.00	7.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成25年2月期)	—	0.00	—	10.00	10.00

修正の理由

配当予想修正の理由

業績予想が前回予想を下回る見通しとなったため、当期の配当予想につきましても誠に遺憾ではありますが、前回予想10円のところ今回7円に修正させていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期の業績回復に向け

て全社を挙げて取り組んでまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注)当資料に記載する予想数値につきましては、当社が本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の予想数値は、当社を取り巻くさまざまな要因により、記述されている予想数値とは大きく異なる結果となることがありますことをご了承願います。

以 上